

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所小川工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	サプライチェーン推進部で一括管理/1次・2次輸送のCO2排出量を把握し、原単位の試算や課題抽出等を実施			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	生産状況の変化による環境影響を共有し、対策立案を共創で実施			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	削減計画の提出を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	・モーダル、電動車の活用実績を輸送会社から共有 ・輸送会社選定時に、ISO14001保有を入札条件として設定			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	クロスドック荷集約(周辺物流倉庫を活用した集約輸送)実施による効率化推進			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	配送リードタイム・頻度見直し、容器標準化推奨等による積載率向上実施			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>自社引取物流と他社荷混載輸送実施</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>距離・荷量を基に輸送会社と協議し、路線便、軽貨物～大型レンジの適正車格設定を行い、輸送設計を実施</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注従属に意思入れし、指示の平準化を実施</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞回避/緩和を目的に夜間を基本としたオフピーク輸送を実施 ・無線等により情報共有し回避ルートの指示展開 	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送実態に合わせた指示時間の設定を実施 ・搬入搬出レーン予約システム導入による待ち時間実態の把握 	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近在倉庫を活用し、個別搬入を集約して混載輸送への転換実施 ・搬入の数量や回数を見直し(集約化)、輸送の効率化を実施 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車両新規購入時の目安を管理項目として設定 ・取組を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	・構内駐車時のアイソリングストップをルール化し、不定期パトロール実施 ・取組を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	・構内入場許可申請時に低燃費車利用状況の確認実施 ・構内駐車時のアイソリングストップをルール化し、不定期パトロール実施 ・契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	日本梱包運輸倉庫等の輸送会社に輸送業務を委託	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	輸送会社共創によるモーダルシフト推進を実施	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	—	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所小川工場			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	期間従業員の通勤手段として各寮から通勤バスを運行	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	所内駐輪場設置と維持管理	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	一部の勤務形態(平常・フレックス)勤務者は、原則公共交通機関による通勤とするルールを運用	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (04) テレワーク制度の導入	一部を対象として在宅勤務制度を導入 (※現在、新型コロナ対策として、フレックスタイム制職場で「原則在宅勤務」適用)	○	○	○
05 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発	ポスター掲出等によるエコドライブ啓発	○	○	○
07 時差通勤の実施 ()	フレックス勤務、短時間勤務制度、時差シフト等の導入	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所狭山工場			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	サプライチェーン推進部で一括管理／1次・2次輸送のCO2排出量を把握し、原単位の試算や課題抽出等を実施	○	○	○
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	生産状況の変化による環境影響を共有し、対策立案を共創で実施	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	削減計画の提出を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	・モーダル、電動車の活用実績を輸送会社から共有 ・輸送会社選定時に、ISO14001保有を入札条件として設定	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	クロスドック荷集約(周辺物流倉庫を活用した集約輸送)実施による効率化推進	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	配送リードタイム・頻度見直し、容器標準化推奨等による積載率向上実施	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	自社引取物流と他社荷混載輸送実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>距離・荷量を基に輸送会社と協議し、路線便、軽貨物～大型レンジの適正車格設定を行い、輸送設計を実施</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注従属に意思入れし、指示の平準化を実施</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞回避/緩和を目的に夜間を基本としたオフピーク輸送を実施 ・無線等により情報共有し回避ルートの指示展開 	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送実態に合わせた指示時間の設定を実施 ・搬入搬出レーン予約システム導入による待ち時間実態の把握 	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近在倉庫を活用し、個別搬入を集約して混載輸送への転換実施 ・搬入の数量や回数を見直し(集約化)、輸送の効率化を実施 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車両新規購入時の目安を管理項目として設定 ・取組を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構内駐車時のアイソリングストップをルール化し、不定期パトロール実施 ・取組を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・構内入場許可申請時に低燃費車利用状況の確認実施 ・構内駐車時のアイソリングストップをルール化し、不定期パトロール実施 ・契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・販売会社新規登録時、構内駐停車可能な拠点のみを許可 ・習志野港搬入時、構内進入後に受付することで路上停車&アイドリングを防止 ・契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	日本梱包運輸倉庫等の輸送会社に輸送業務を委託	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送会社共創によるモーダルシフト推進を実施 ・完成車の船便輸送実施 	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所狭山工場			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理			所内駐輪場設置と維持管理	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	一部を対象として在宅勤務制度を導入 (※現在、新型コロナ対策として、フレックスタイム制職場で「原則在宅勤務」適用)	○	○	○
05 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	ポスター掲出等によるエコドライブ啓発	○	○	○
07 時差通勤の実施 ----- ()	フレックス勤務、短時間勤務制度、時差シフト等の導入	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社		事業所名	埼玉製作所寄居工場			
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	サプライチェーン推進部で一括管理/1次・2次輸送のCO2排出量を把握し、原単位の試算や課題抽出等を実施			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	生産状況の変化による環境影響を共有し、対策立案を共創で実施			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	削減計画の提出を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)			—	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	・モーダル、電動車の活用実績を輸送会社から共有 ・輸送会社選定時に、ISO14001保有を入札条件として設定	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	クロスドック荷集約(周辺物流倉庫を活用した集約輸送)実施による効率化推進	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	配送リードタイム・頻度見直し、容器標準化推奨等による積載率向上実施	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	自社引取物流と他社荷混載輸送実施	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	距離・荷量を基に輸送会社と協議し、路線便、軽貨物～大型レンジの適正車格設定を行い、輸送設計を実施	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注従属に意思入れし、指示の平準化を実施	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	・渋滞回避/緩和を目的に夜間を基本としたオフピーク輸送を実施 ・無線等により情報共有し回避ルートの指示展開	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送実態に合わせた指示時間の設定を実施 ・搬入搬出レーン予約システム導入による待ち時間実態の把握 	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近在倉庫を活用し、個別搬入を集約して混載輸送への転換実施 ・搬入の数量や回数を見直し(集約化)、輸送の効率化を実施 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車両新規購入時の目安を管理項目として設定 ・取組を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構内駐車時のアイソリングストップをルール化し、不定期パトロール実施 ・取組を契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構内入場許可申請時に低燃費車利用状況の確認実施 ・構内駐車時のアイソリングストップをルール化し、不定期パトロール実施 ・契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・販売会社新規登録時、構内駐停車可能な拠点のみを許可 ・習志野港搬入時、構内進入後に受付することで路上停車&アイドリングを防止 ・契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定) 	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()</p>	<p>日本梱包運輸倉庫等の輸送会社に輸送業務を委託</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	・輸送会社共創によるモーダルシフト推進を実施 ・完成車の船便輸送実施	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	契約仕様に入れ込む(令和4年度競合入札実施予定)	—	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所寄居工場	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	期間従業員の通勤手段として各寮から通勤バスを運行			○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	所内駐輪場設置と維持管理			○	○	○	
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	一部の勤務形態(平常・フレックス)勤務者は、原則公共交通機関による通勤とするルールを運用			○	○	○	
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (04) テレワーク制度の導入	一部を対象として在宅勤務制度を導入 (※現在、新型コロナ対策として、フレックスタイム制職場で「原則在宅勤務」適用)			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

05 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	ポスター掲出等によるエコドライブ啓発	○	○	○
07 時差通勤の実施 ----- ()	フレックス勤務、短時間勤務制度、時差シフト等の導入	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	和光ビル				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ()	事務用品関係は総合事務サービスが一括購入し、少量輸送をしない			○	○	○	
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	来場者に停車時のアイドリングストップを駐車カードに記入し依頼している			○	○	○	
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	荷捌き場の駐車場は必要以上に整備されている			○	○	○	